

臨床心理基礎実習 B

1 単位 (必修) 1 年 (後期)

臨床心理基礎実習 B

佐藤 健二・教授/臨床心理学専攻, 大森 哲郎・教授/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 福森 崇貴・講師/臨床心理学専攻

【授業目的】 基礎実習 A と同様に, どのような心理臨床場面においても, クライエントの話を傾聴しながら, 心理学的な問題に対する理解を深め, よりよい関係性のなかで継続的な支援を行うことができるための基礎的技術を身につけることを目標とする。

【授業概要】 基礎実習 A に引き続き, 臨床心理面接法の基礎的技法の習得をさらに深めていく。

【キーワード】 マイクロカウンセリング, 積極技法, 試行カウンセリング, 精神科病棟実習

【先行科目】 『臨床心理基礎実習 A』(1.0), 『臨床心理学特論 A』(1.0), 『臨床心理面接特論 A』(1.0)

【関連科目】 『臨床心理学特論 B』(0.5), 『臨床心理面接特論 B』(0.5), 『臨床心理実習 A』(0.5)

【履修上の注意】 実習なので, 失敗を恥ずかしがらずに積極的に取り組むことを期待する。また, より実践的な訓練を行うが, 大学院生が相互に教え合うこと, 学び合うことを期待する。

【到達目標】 学内外での心理臨床活動を行うに先立って, 臨床心理学的サービスを効果的に行うための基礎的技術を身につける。特に基礎実習 B では, より実践に近いかたちでの訓練を行うことで, 臨床心理面接をより効果的に行うための能力を身につけることを目標とする。

【授業計画】

1. 「感情の反映」技法
2. 「感情の反映」技法に関するロールプレイ (録画) の検討
3. 「自己開示」技法の理論と実際
4. 「対決」技法の理論と実際
5. 「対決」技法に関するロールプレイ (録画) の検討
6. 試行カウンセリングの実施法と注意事項について
7. 試行カウンセリング事例の検討 1(逐語記録を基にしたカウンセリング・プロセスの吟味)
8. 試行カウンセリング事例の検討 2(逐語記録を基にしたカウンセリング・プロセスの吟味)
9. 試行カウンセリング事例の検討 3(逐語記録を基にしたカウンセリング・プロセスの吟味)
10. 試行カウンセリング事例の検討 4(逐語記録を基にしたカウンセリング・プ

ロセスの吟味)

11. 精神科病棟実習 1:病棟実習説明, 患者との交流
12. 精神科病棟実習 2:ガイダンス, 精神現象の把握のポイント, 患者との交流
13. 精神科病棟実習 3:精神科教授回診見学, 患者との交流
14. 精神科病棟実習 4:精神科事例検討会見学, 患者との交流
15. 精神科病棟実習 5:受け持ち患者に関するプレゼンテーション, 患者との交流
16. 総括

【成績評価】 出席および授業態度を重視する (40%)。また, 各教員の指導の下で実習の成果をレポートにまとめて提出する。

【再試験】 無し

【教科書】 マイクロカウンセリング (川島書店), 面接のプログラム学習 (相川書房), 試行カウンセリング (誠信書房)

【参考書】 参考文献・参考資料は実習中に適宜紹介する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218213>

【連絡先】

- ⇒ 佐藤 (3S05, 088-656-7202, satoken@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日 12:10-12:40)
- ⇒ 大森 (臨床研究棟 8F 教授室, 088-633-7130, tohmori@clin.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 8:30-17:30)
- ⇒ 福森 (fukumori@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

臨床心理基礎実習 B

1 unit (compulsory) 1st-year(2nd semester)

Kenji Sato · PROFESSOR / CLINICAL PSYCHOLOGY, Tetsuro Ohmori · PROFESSOR / INSTITUTE OF HEALTH BIOSCIENCES, Takaki Fukumori · ASSOCIATE PROFESSOR / CLINICAL PSYCHOLOGY

Target) 基礎実習 A と同様に、どのような心理臨床場面においても、クライアントの話を傾聴しながら、心理学的な問題に対する理解を深め、よりよい関係性のなかで継続的な支援を行うことができるための基礎的技術を身につけることを目標とする。

Outline) 基礎実習 A に引き続き、臨床心理面接法の基礎的技法の習得をさらに深めていく。

Keyword) マイクロカウンセリング, 積極技法, 試行カウンセリング, 精神科病棟実習

Fundamental Lecture) “臨床心理基礎実習 A”(1.0), “臨床心理学特論 A”(1.0), “臨床心理面接特論 A”(1.0)

Relational Lecture) “臨床心理学特論 B”(0.5), “臨床心理面接特論 B”(0.5), “臨床心理実習 A”(0.5)

Notice) 実習なので、失敗を恥ずかしがらずに積極的に取り組むことを期待する。また、より実践的な訓練を行うが、大学院生が相互に教え合うこと、学び合うことを期待する。

Goal) 学内外での心理臨床活動を行うに先立って、臨床心理学的サービスを効果的に行うための基礎的技術を身につける。特に基礎実習 B では、より実践に近いかたちでの訓練を行うことで、臨床心理面接をより効果的に行うための能力を身につけることを目標とする。

Schedule)

1. 「感情の反映」技法
2. 「感情の反映」技法に関するロールプレイ (録画) の検討
3. 「自己開示」技法の理論と実際
4. 「対決」技法の理論と実際
5. 「対決」技法に関するロールプレイ (録画) の検討
6. 試行カウンセリングの実施法と注意事項について
7. 試行カウンセリング事例の検討 1(逐語記録を基にしたカウンセリング・プロセスの吟味)
8. 試行カウンセリング事例の検討 2(逐語記録を基にしたカウンセリング・プロセスの吟味)
9. 試行カウンセリング事例の検討 3(逐語記録を基にしたカウンセリング・プロセスの吟味)
10. 試行カウンセリング事例の検討 4(逐語記録を基にしたカウンセリング・プ

ロセスの吟味)

11. 精神科病棟実習 1:病棟実習説明, 患者との交流
12. 精神科病棟実習 2:ガイダンス, 精神現象の把握のポイント, 患者との交流
13. 精神科病棟実習 3:精神科教授回診見学, 患者との交流
14. 精神科病棟実習 4:精神科事例検討会見学, 患者との交流
15. 精神科病棟実習 5:受け持ち患者に関するプレゼンテーション, 患者との交流
16. 総括

Evaluation Criteria) 出席および授業態度を重視する (40%)。また、各教員の指導の下で実習の成果をレポートにまとめて提出する。

Re-evaluation) 無し

Textbook) マイクロカウンセリング (川島書店), 面接のプログラム学習 (相川書房), 試行カウンセリング (誠信書房)

Reference) 参考文献・参考資料は実習中に適宜紹介する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218213>

Contact)

- ⇒ Sato (3S05, +81-88-656-7202, satoken@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 木曜日 12:10-12:40)
- ⇒ Ohmori (臨床研究棟 8F 教授室, +81-88-633-7130, tohmore@clin.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 8:30-17:30)
- ⇒ Fukumori (fukumori@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL